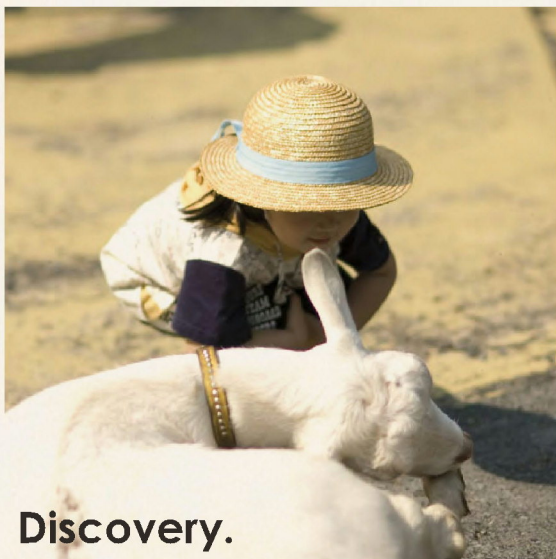


# みつけた!

福岡県保育協会通信



## Discovery.

By mutual confidence and mutual aid,  
Great deeds are done, and great discoveries made;  
相互信頼と相互扶助にて、偉大なる行為はなされ、偉大なる発見がなされる。  
—ギリシアの詩人 ホメロス

福岡県保育協会会長あいさつ	-----	2
福岡県知事あいさつ	-----	3
福岡県保育士会会長あいさつ	-----	4
第 58 回筑豊地方保育事業研究大会報告	-----	5
幼保連携型認定こども園に移行して	-----	6
公立発信	-----	7
新園紹介	-----	8-10
コラム&編集後記	-----	11



公益社団法人福岡県保育協会 会長 万田 康

## 会長あいさつ

全国保育協議会協議員総会での挨拶  
(写真提供：全国保育協議会事務局)

※万田会長は、平成27年5月開催の全国保育協議会協議員総会において引き続き会長に選出されました。任期は2年。



皆様におかれましては、平素より児童福祉の理念のもと、未来を担う子ども達の健全育成に全力で取り組まれていることに深く感謝申し上げます。

本年4月、子ども・子育て支援新制度が施行されました。これまで、国の子ども・子育て会議並びに基準検討部会に参画し、新制度の具体的な通知に向け意見提出を行う等、保育所の機能・役割を継続し、発展できる仕組みとなるよう働きかけを行ってまいりました。

新制度が動き出した今こそ、これまでの保育所での実践を踏まえ、保育の質のさらなる改善をめざして制度改善に向けた意見提案が重要になってきています。

各自治体に設置されている子ども子育て会議においても、地域の保育関係者による意見発出や課題提起がこれまでも増して求められてまいります。

保育界にとって、今年度から平成31年度までの5年間は制度改革を含め、色々なことが整理されていくことと思いますが、変えなければならないこと、変えてはならないことを社会状況や時代の流れを見据えながら整理し取り組む必要があります。

新制度においては、子ども子育て分野では、7千億円の消費税財源を含む残り3千億円超の公費の追加を前提として、“質の改善”及び“量的拡充”を実現するために必要な財源として整理されたものです。消費税率の引き上げ時期の延長により、これまで見込んできた財源に不足が生じ新制度の後退などの支障が生じることがないよう最低でも1兆円の財源確保は必要不可欠であります。全国保育三団体においては、動き出している子ども子育て支援新制度全体を推進していく上での所要財源の確保はもとより、施行後に明らかになった地方・現場からの課題について要望や見直しを意見

として取りまとめ、「子ども・子育て支援新制度施行後の課題への要望」として厚生労働省並びに内閣府へ提出したところです。

保育の質を高める抜本的な処遇改善の実現に向けては、職員配置の改善、質の向上を図る研修の充実、職員の定着、職員給与の改善、キャリアアップの推進等、特に保育士等の処遇は、民間の他の職種と比較し、まだまだ低い実態にあります。専門性をもつ保育士が誇りをもち、安定的・継続的に長く働き続けられるよう雇用形態の改善等、財源を含め職員の定着・確保に一層取り組む必要があります。

今回の新制度で保育所は児童福祉施設として残るのか、認定こども園に移行するのか、今後地域の状況や国の考え、全国の流れを見ながら判断することになると思います。保育所であれ、認定こども園であれ、安定的な事業運営ができるように国に対し求めていきます。

また、社会福祉法等の一部を改正する法律案につきましては、評議員の定数、地域公益活動を推進するための用途制限の緩和等、多くの社会福祉法人が一律に対応することの困難性を要望していくとともに、社会福祉施設職員等退職手当共済制度の維持・継続についても国に働きかけてまいります。

保育所は、地域において最も身近な子育て拠点であり、子どもの育ちを保障するとともに“すべての人が子どもと子育てにかかわりをもつ社会の実現”を目指して、社会や地域が要請する保育ニーズに応え、保育機能や専門性を活かして最大限努力していかねばなりません。

子ども子育て支援新制度が保育界にとって輝かしい制度になることを心より願ってやみません。

福岡県知事 小川 洋

## 知事あいさつ



福岡県保育協会におかれましては、日頃から保育の発展普及に熱心に取り組まれ、子どもたちの健やかな成長と子育て家庭の支援に多大な貢献をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

少子・高齢化が進行する中、核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育てに関する相談や協力を得られる相手が身近にいないなど、一人で悩み、不安感を抱くお母さん方が増えています。また、女性の社会進出などに伴い、保育需要は年々高まっております。

このような中、子どもたちの健全育成や保護者の子育てと仕事の両立支援はもとより、地域における子育て支援の拠点として、保育所の役割はますます重要になっております。

本年4月から、幼児教育・保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進める「子ども・子育て支援新制度」が本格実施されました。

本県では、貴協会の武藤副会長、森田理事はじめ、子育てに関わる有識者委員の皆さまのご意見を踏まえながら、子育てを地域全体で支え、応援する社会づくりを目指す「ふくおか子ども・子育て応援総合プラン」を本年3月に策定したところです。本プランでは、少子化の流れを変えることを目指し、若者が結婚・子育てに夢や希望を持つ社会づくり、子どもを安心して生み育てることができる社会づくり、子どもの健やかな育ちと自立を応援する社会づくりという3つの基本的方向の下、出会い・結婚から妊娠・出産、子育てまで、ライフステージに応じたきめ細かな施策を切れ目なく推進することとしております。

また、増大する保育需要への対応及び保育環境の充実のため、市町村と連携しつつ保育所の整備を促進するとともに、貴協会のご協力をいただきながら、保育の質の向上に向けた階層別研修や専

門性の高い各種研修を実施します。加えて、近年の保育士不足に対応するため、貴協会内に設置した「保育士就職支援センター」において、保育資格を持った方の再就職と保育所の人材確保支援を行っており、本年度からは新たに、保育士の就業継続や保育所の職場環境改善に取り組む事業を実施することとしております。

次代を担う子どもたちが、夢や希望を持ち、心豊かにたくましく育つことはいつの時代においても変わることのない願いです。これからも、実際に保育に携わる皆さま方のご意見を踏まえながら、子育てをみんなで支える社会づくりを進めてまいりますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

福岡県保育協会のますますのご発展と、皆さまのご健勝とご活躍を心から祈念いたします。



福岡県保育士会会長 上村 初美

## あいさつ

九州ブロック保育士会セミナーでの挨拶（写真提供：佐賀県保育会事務局）

※上村福岡県保育士会会長は、平成 27 年 5 月開催の全国保育士会委員総会において引き続き会長に選出されました。任期は 2 年。



この度、平成 27 年度・28 年度において、福岡県保育協会保育士会会長・全国保育士会会長を仰せつかり保育会の激動期に身の引き締まる重責を感じております。子どもにとっても保育者にとっても良い組織となるよう、最善を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

さて、全国保育士会では今年度の重点課題の一つとして養護と教育が一体となった保育の言語化に取り組んでいます。それは、「社会における保育に対する理解が低いのではないか」や「学校教育との比較において保育に教育はないとの誤解が保護者にはあるのではないか」という問題意識にたって養護と教育が一体となった保育とはどのようなものなのかを具体的な表現（言語化）をするものです。保育には人間形成の礎となる乳幼児期に必要な教育が含まれており幼児期にあっては、保育所も認定こども園も幼稚園も行っている教育は、実質的には同様であるはずですが。その際、養護が確立された上に教育が成り立っているものです。家庭で行われる保育とは違う専門職の私たちが行う保育は、言い換えれば保育士の専門性についても明らかにしていこうという取り組みです。

福岡県保育士会では、26 年度の事業でも「あそびの中には学びがいっぱい」をテーマにシンポジウムも開催し、発信致しました。今年度は全国保育士会とも一体となり、さらに広く社会に啓発していきたいと思っております。

今、国では、保育所保育指針や幼稚園教育要領の改定に向けた準備が始まっています。予定では来年の夏頃には共に告示の予定です。今回の改定の柱は、「小学校との連携・つなぎ」に関する内容の充実が予想されます。改定に向けた委員会の立ち上げも間近でしょう。ここにもスピード感を持って「保育の根拠」を提言しなければ「保育」に対する理解が低いものになります。このことは、全

国保育協議会と共に全国保育士会も共働して取り組むこととなります。

福岡県保育士会では、保育の専門職としての質の高い保育をめざすため、27 年度・28 年度は特に乳児保育に力を注いでいます。1 年間に乳児保育の 3 本のプログラムを立て、乳児保育のスペシャリストとしての力量を高めることを目指しています。3 回受講した方には、修了証を発行する予定です（2 年かけて 3 回の研修を受講することも可）。既に今年度は 2 回の乳児研修会を終えました。いずれも参加者は 300 名に及び参加数で、熱心な研修会となりました。講師には、東京家政大学ナースリールーム主任の井桁容子氏を招き、子どもの行動からその心情を読み取り、意欲を持って子どもが行動できるように保育士の関わり方を学びました。次回は 1 月 7 日に予定しています。2 回とも受講した方からは、乳児保育での保育者の役割は、乳児にもともと備わっている力を科学的に理解し、信頼して一人ひとりの様子に応じて援助していくことを認識し、次回の研修会までに何か 1 つでもスペシャリストとしての実践を語り合えるようにしたいという声も聞かれました。

また、11 月には玉川大学教授の大豆生田啓友氏をお招きしてご講演頂く予定です。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

保育士会は、常に「子どもの最善の利益」を目指して、保育の専門職としての資質向上を図り、その実践にもとづき、子どもの育ちと保護者の子育てを支えていくことを目指しています。今後も子どもが豊かに育つ保育環境の構築や保育の質を高めるための条件整備についても制度改善に向けた取り組みを行ってまいります。どうぞ、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

第 58 回筑豊地方保育事業研究大会

田川地区保育協会 会長 松岡 久代



## 第 58 回筑豊地方保育事業研究大会を終えて

去る 6 月 7 日（日）、第 58 回筑豊地方保育事業研究大会を田川市にある田川文化センターにて開催致しました。式典には来賓の方々を始め会員 1,200 名以上のご参加をいただき、来賓の方々からは心あたたまるお祝いの言葉を頂戴いたしました。田川地区保育協会と致しまして感謝の気持ち一杯です。

また、福岡県保育協会の万田会長より筑豊地方の保育士 41 名へ一般表彰として栄えある賞状を頂きました。受賞された方々は、明日への更なる保育の実践に意欲が湧いていることでしょう。一番の心配は天気でしたが、それも思い過ごしに終わりました。もう一つは、会員の皆様が参加して良かったと思いながら、帰路に着いて頂くことを念頭に実行委員会を進めて参りました。「笑う門には福来たる」、「終わりよければ全てよし」を合い言葉とし、実行委員の皆様が力を貸してくれました。

事例発表では、『仏教を通しての保育の実践』と題して、福智町にあるぎんなん保育園の長川文先生に、プロジェクターを使って自然環境の中で行う一貫保育への取り組みをお話して頂きました。参加者の方々から「感動を受けた」とのお声をお聞きしました。

記念講演では、藤清光先生のユーモアに富んだ博多弁、筑豊の方には馴染みの薄い語り口なので気に掛けていましたが、会場内から聞こえた響めく様な笑い声を耳にしたとき、胸のつかえがいったんに消えました。藤清光先生からお話を頂いた『食は いのち一足元の宝、ふるさと料理』が演題の講演で会員の方々がどう感じたかは、会場で販売していた先生の本の売れ行きを見れば一目瞭然でした。講演して頂いた内容の中に「おからヨーグルト」が出て来たのですが、早速試した保育士の方々が「便秘が治った」と宣伝しているようです。

やはり、ためしてガッテンですね。

アトラクションは K スタイルによるヴィオラ・打楽器・ピアノのトリオ演奏で、葉加瀬太郎作曲の『情熱大陸』を演奏して頂き、会場は大いに盛り上がっていました。まだまだ演奏したかった K スタイルの方々と、もう少し音楽を聴く時間があればと言っておりました会員の方々の為にも、また K スタイルの演奏をお聴かせ出来る機会を作れたらと思っています。

何よりも、会員の皆様のご協力により本大会が無事に終わることが出来ました。実行委員会を代表しまして、深く感謝申し上げます。



# 幼保連携型認定こども園に移行して

平成27年4月1日幼保連携型認定こども園認可

幼保連携型認定こども園 遊林愛児園 園長 佐藤 智水

## (1) 認定こども園の趣旨

- ① 親の就労の有無に拘わらず施設利用が可能になる。
- ② 適切な規模の子ども集団を保ち、子どもの育ちの場を確保できる。待機児童解消にも寄与し得る。
- ③ 育児不安の大きい在宅の子育て家庭への支援を含む地域子育て支援が充実できる。
- ④ 幼児教育を保障する。
- ⑤ 保幼小連携と保幼小接続期カリキュラムの作成

## (2) 幼保連携型認定こども園の目的

幼保連携型認定こども園は、家庭との連携を図りながら、義務教育及びその後の教育の基礎を培うとともに、子どもの最善の利益を考慮しつつ、就学前の子どもに対する教育及び保育を一体的かつ体系的に行い、これらの子どもの健やかな成長が図られるよう適した環境を与えて、その生活を保障し、保護者と共に園児を心身ともに健やかに育成することを目的とする。

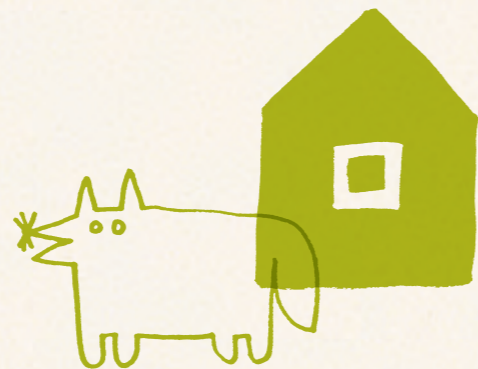
このため、幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本に基づいて一体的に展開される幼保連携型認定こども園における生活を通して、生きる力の基礎を育成するよう、認定こども園法第9条に規定する幼保連携型認定こども園の教育及び保育の目標の達成に努めなければならない。

## (3) 保育園と比較し負担に思われる点

- ① 保育料金を園独自で徴収しなければならない。このため、保育料の未納者対策等が必要になるケースが生じる。
- ② 園児の教育内容の面でも幼稚園とも切磋琢磨しなければならないものの、標準時間の教育及び保育も同時進行で提供して行かねばならず、充実した教育及び保育提供のための計画および反省の時間確保に苦勞している。
- ③ 幼保連携型認定こども園のため、採用職員には、保育教諭（保育士資格と幼稚園教諭資格の両資格とも必要）の資格が必要となる。

## (4) 保育園と比較し恵まれていると思われる点

- ① 園児一人当たりの公定価格（保育単価）や加算額が保育園のそれよりも高い。  
更に、様々な加算申請が可能である。
- ② 従来実施してきた保育（養護と教育）内容が、「認定こども園法」により法令的にも「教育」として認められる。義務教育及びその後の教育の基礎を培う。
- ③ 質の向上のため、保育園以上に教職員の人数が確保できる公定価格及び加算になっている。  
例：主幹教諭を2名配置など
- ④ 地域の子育ての支援を積極的に行う。
- ⑤ 保幼小接続期カリキュラムを作成するなど、小学校との連携を今まで以上に密にできる。
- ⑥ 幼保連携型認定こども園は就学前の児童全てとかわかりを持つことのできる乳幼児の教育及び保育を実施し、かつ地域の子育て支援も積極的に行う責務を持つため、これまで以上に地域における子育て支援の中心的役割を果たしやすくなり、また地域における園としての存在意義もより高くなる。
- ⑦ 1号認定の利用料金も、幼稚園と同様に、3歳児から小学3年生までで兄弟姉妹関係があれば、二人目は半額、また三人目は無料になる。勿論、2・3号認定の利用料金は、保育園と同様に、0歳児から年長児までで兄弟姉妹関係があれば、二人目は半額、また三人目は無料である。
- ⑧ 園独自の教育方針を、保育園の時より、より明確に掲げやすくなる。



# 公立保育所における地域支援

—おひさまびっぴ事業—福津市の取り組み

福津市立花見保育所 所長 梶谷 敦子



## =はじめに=

2015年1月に10周年を迎えた福津市。『市の魅力を磨き発信するまち』として様々な取り組みを進めています。その一つに「安全・安心の地域づくりを目指す」という項目があり、その詳細には子育て支援も含まれ、『子どもが夢を持ち、健やかに育つまち』として子育て支援の充実も図っています。新しい団地もできて、保育所需要も高い福津市。公立保育所3か園、私立保育園5か園で保護者のニーズに応えながら楽しく保育を進めています。

## =福津市の子育て支援（地域支援）=

「子育て支援センターなかよし」の「子どもの広場事業」により、支援センターと市内の認可保育所や市立幼稚園が連携して、親子で体験できる広場事業を各園で毎月展開しています。どの園も毎回10～20名の親子が保育士や同年齢の子どもたちと触れあうことを楽しみにしながら参加してもらっています（園庭あそび・季節の製作あそび・水遊びなど）。

## =公立保育所における子育て支援（地域支援）=

「子どもの広場事業」と共に公立保育所独自で始めた地域支援『おひさまびっぴ』事業（平成16年度開始）。「わが子はかわいいけれど、子どもとのかかわり方が分からない」「子育て相談を身近な場所で行いたい」「子育てママ同士の友だちを作りたい」など、子育て世代の保護者のニーズに応えられるようにと始めた事業。当初は4園で、1園が民間委託となり現在は3園（花見・東福間・大和）でこの事業を引き継いでいます。



「子どもの最善の利益を求める」事を基本に、一人ひとりの成長に見合った保育を進め、一人ひとりの育ちを大切にしたい保育をすることで“子どもの育ち”に対する研鑽を進めている3園の保育所。県保育協会の研修、宗像地区保育協会等の研修、公立保育所3園研修、就学前教育交流研修会そして園内研修等で、日々、保育の原点の振り返りを行う事を大切にしています。「おひさまびっぴ事業」は公立保育所が保育士経験の長い保育士が揃うことを利点とし、たくさんの保護者、子どもたちと接してきた事を土台に、主に主任が担当をしながら、「子育て一人で悩まないで!」「大変なのは家（私）だけではない、みんな一緒!」とわらべうたを歌ったり、一緒に遊んだりする事で、ママ自身がストレス発散。保護者も子どもも笑顔で家庭に戻ることができる有意義な時間を過ごしてもらえるようにしています。登録制で5回連続同じ仲間と一緒にということも、安心感を持てるものになっています（各園7～10名が毎回登録しています）。

## =おわりに=

「月一回ではなくもっと回数を増やしてほしい」「仲間感覚で過ごせ、先生に身近に相談できて良かった」「歌や遊びのレパートリーが増えて楽しめました」。毎回、キャンセルがでるくらい好評な事業。子育てを楽しめる親子が増えて、その輪が広がるよう、公的機関だからこそできることを探っていき、福津市の子育て・地域支援に今後もまい

### —いっしょに子育ておひさまびっぴ—

お子さんの発達を見つめながら子育てを楽しんでいただくための「子育て講座」を開催します。身体測定も行います。

日程	0歳(3か月-11か月) 大和	1歳(12か月-23か月) 花見・東福間
5/21(木)	わらべうた	わらべうた
6/18(木)	わらべうた	ふれあいあそび
7/16(木)	子育て座談会	子育て座談会
8/20(木)	手づくりおもちゃ	手作りおもちゃ
9/17(木)	離乳食試食	給食試食

※後期日程(予定)

10/15(木) 11/19(木) 12/17(木) 1/21(木) 2/18(木)

# 新園紹介

ピカピカホヤホヤのわたしたちを  
どうぞよろしくおねがいます!



## 新宮あおぞら保育園

新宮あおぞら保育園 園長 薄 和哉



はじめまして!

新宮あおぞら保育園は、2014年12月1日、3ヶ月～2歳児を対象とした定員27名の認可保育園として糟屋郡新宮町に設立いたしました。保育時間は、平日7:00～18:00(延長保育18:00～19:00)、土曜7:00～16:00(延長保育16:00～17:00)です。※日曜・祝日・年末年始は休園

「子ども達の幸せのために」をモットーに、子ども達一人ひとりとの愛着関係を築き、愛情に満ちた質の高い保育を目指す」という保育理念の下、私たちは子ども達をしっかり褒め、触れ合いを大切にすることで「子ども達が安全で居心地が良いと感じられる場」に、「保護者の皆様が安心感・信頼感を得られる場」になるよう日々邁進しております。また、豊富なメニューで栄養バランスのとれた美味しい給食や芋の苗植え等、健全な心身の発達のために子ども達に寄り添いながら食育を援助・指導しています。一方、昨今の保育に欠ける待機児童や育児相談・子育て情報提供、高齢者の皆様との関わり不足を改善すべく、地域の方々との繋がりを大切に、連携を図りながら地域の保育園としての役割を果たしていきます。

最後になりますが、本園といたしましては、保護者の皆様をはじめ、県保育協会の皆様、県内保育所関係の皆様、各市町村の児童福祉事業関係の皆様と一体となって家庭・保育環境の人的および物的環境をよりよくなることを目指し、「子ども達のイマ」を大切に育んでいきたいと思っています。



## たのしい保育園

たのしい保育園 園長 桑戸 佳乃

たのしい保育園は、社会福祉法人赤い鳥保育会が大野城市に開設する2つ目の保育園です。

基本理念は「愛されている実感!それが子どもの育つ栄養!」とし、誉める保育を実践しています。具体的には子どもの努力した過程やお友だちに対する思いやりなどを誉めたり、食事のシーンでも「おいしいね!」など声かけをして共感しあうなど、ひとりひとりにあった声をかけるようにしています。

保育室は天然木の家具を中心に構成し、使いたいものがすぐに使えるように工夫して教材等を配置しています。教材も子どもたちが飽きることなく集中して活動できるように子ども達の興味に合わせた教材をこまめに入れ替えて行っています。

また、みんなが大好きな給食の時間は、子どもたちが自ら食事の量を注文して注ぎ分けが行われるカフェテラス方式を取り入れています。自分が注文した食事をお友だちと楽しく食べることによって、食事の時間が楽しい時間となり、偏りや残食が少なくなっていくきます。

また、園外へのお散歩は少人数で行い、園内では味わえない新しい発見やふれあいを大切にしています。例えば、お誕生日には1人ずつお誕生日会をしてお祝いし、保育士と2人でケーキを買いにお散歩に行きます。子どもたちは誕生日という特別な一日を折り数えて楽しみにしています。

日々の活動の中で自ら考え行動する自発的な子どもに成長できるように見守っていききたいと思います。



## 福津いくみ保育園

福津いくみ保育園 園長 井川 郁美

福津いくみ保育園は、平成27年4月1日に福津市日蒔野(ひまきの)に開園いたしました。保育園がある福津市は、海と山に囲まれた自然豊かな環境にありながら、福岡市及び北九州市への通勤・通学の利便性などから住宅地としても発展しています。福津いくみ保育園も豊かな自然環境の恩恵を受け、園庭の小さな小川には地下水が湧きだしています。この清らかな水を利用した「せせらぎ」が、子ども達の一番人気の遊び場となっています。

保育園周辺は、開発された平地で、そばには大きな商業施設が控えていますが病院施設や住宅地が広がる閑静な環境です。2階建ての園舎は子ども達が安心してすごせるようにゆったりとしたスペースを確保しており、広い園庭では子ども達が思い思いにのびのびと遊んでいます。

当園は、モンテッソーリ教育の基本理念であります「子どもの自然の能力を伸ばし、自主性を助け、世界の平和を愛し貢献できる人を育てる」ことを手掛かりに保育を行っています。

乳幼児期は一生の中で最も成長する時期です。お預かりしている子ども達の大切な成長期に関わっている責任を自覚し、子どもが成長していく喜びを保護者と共有しながら日々運営していきたいと思っています。

福津いくみ保育園は、今年生まれたばかりの保育園ですが、子どもの笑顔と保護者の安心そして地域の方や自治体との信頼関係を基本に地域の子育て支援施設としての役割を担い社会に貢献していきたいと思っています。



## 新園紹介

### 星の子保育園

星の子保育園 園長 井中 卓生



星の子保育園は、社会福祉法人相和会の第7番目の保育園として、平成27年4月1日に糟屋郡粕屋町内橋に新しく開園いたしました。

私どもの法人理念は、『小さな手 未来へつなぐ 感謝の心』です。これを受け、星の子保育園では子ども達が保育園生活を通して、心ゆくまで楽しく遊んだり、保護者や友達、地域の方みんなの大きな愛情に包まれて信頼関係を築いたり、ありがとうと思う感謝の心を育てていく保育を行いたいと考えています。

『愛』も『信頼』も『感謝』も目には見えない子どもの育ちの「土台」を大切に、子どもたちの心を耕していきたいと考えています。

特に、子どもにとっての人的環境（保育者）は大切であると考え、職員間の温かい関わり、温もりのある言葉のやりとりを大切にしています。そのせいか、心も身体もフレッシュな先生達の笑顔一杯の保育園となっています。園舎も子ども達にとって、「お家」のような環境をとの思いを込めて建設しましたので、落ち着いた雰囲気となっています。子どもたちに「保育園、大好き!!」「また、保育園に行きたい」と言ってもらえるような、楽しい、温かな保育園にしていきたいと願っております。



### 南保育所

南保育所 所長 中村 友子



南保育所は、「すべての子どもたちに教育保障を!」という地域の思いを受け1977年に建設されました。そして、2009年4月より、社会福祉法人みらいが太宰府市から委託を受け、設立の趣意を受け継ぎながら運営している公設民営の保育所です。

南保育所では、未来を担う子どもたちの個性と可能性を信じ、一人ひとりの全面発達を促し、やさしさとたくましさをあわせもった子どもたちの育成をめざしています。そのために、コーナー保育や身体表現・絵画活動、ひまわり集会など遊びと生活を通して、「自信をもって自己表現できる力」「意欲をもってチャレンジする力」「考えたり工夫したりして最後までやりとげる力」「命の大切さや人の心の痛みがわかる感性」などを養い、キラキラ輝いて生きていける子どもたちに育ててほしいと願っています。

西鉄二日市駅から徒歩10分の住宅街にありながら、太宰府政庁跡や太宰府天満宮など豊かな歴史や自然に恵まれ、日々、園外保育や地域の皆さんとの交流を楽しんでいます。園舎は39年目を迎えて古くなっていますが、人と人がつながりあえるアットホームな保育所で、子どもたち・保護者・保育士・地域の皆さんすべてが、「みんなちがってみんないい」と認め合い・つながりあい、安心、自信をもって生きていける保育所にしていきたいと思っています。



コラム

さばこ  
cavaco の

ワークショップ

子どもたちの  
想像力に  
耳をすまそう

10.10

風が涼しくなり、過ごしやすい季節になってきましたが、最近は夏バテならぬ「秋バテ」という言葉もありますので、どうかみなさん、これからの季節もお気をつけてお過ごしくださいね!・・・という人を思いやる健康の祈りに加え、豊穰、生命繁栄への祈りの気持ちを込めて大昔の人たちが形として残したのと言えは・・・「土偶」ですね。現在発見されている日本最古級の土偶は、縄文時代草創期、約1万2000年前につくられたものと言われていて、土をこねてつくられた体は様々なユニークな形や表情をしていて、どんな願いが込められていたのだろうと想いを馳せるとそのロマンを感じます。

子どもたちにお願いごとをたずねてみると、文明社会に突入する前の原初の人たちのイノセントな願いと通ずるところがあるのかな、と感じることもあります。

そこで今回のご紹介は土偶ワークショップです。まずは粘土の扱いから練習開始!今回は絵を描くようにべったんこな粘土や、パーツを組み合わせるように小さな粘土から始めるのではなく、まずは基本の形の「かたまり」からスタートしてみましょう。それを少し意識してつくることで、造形が自立することも可能になってきます。

まず子どもたちにはかたまりを「にぎる」「ころがす」ことでボールをつくることから初めよう!と伝えてみ

ましよう。ボールができれば指の先をうまく使い、粘土を「なでる」「こする」ことで「つるつるさん」をつくります。そこに粘土ベラなどを「あてる」ことで、様々なテクスチャをつけた「ぶつぶつさん」、その他、「つまむ」で「とげとげさん」、「のぼす」で「べらべらさん」「よる」で「にょろにょろさん」・・・などと試してみ、いろんな動作でどんな形ができるかをまずは感じてみてから、いざ土偶づくりへ。後で作品として展示する場合は、軽量粘土がおすすめです。扱いやすく色も豊富で、固まってからは発砲ポリスチレンのように軽く割れにくい。ただ、制作時は粘土が乾かないように密封チャック付きの袋と、指につけて使用するためにカップやお皿に入れたお水、汚れた手を拭き取るための雑巾を用意するとよいでしょう。

10月9日は「ど(10)ぐう(9)の日」だそう。ぜひ想いを込めてつくってみませんか?

#### 山下麻里 (やました・まり)

グラフィックデザイナー。九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻修了。2007年より九州大学大学院特任教授目黒実氏が主催する「子どもプロジェクト」に企画・デザイン等で参加する。在学中、ユニバーサルデザイン教育を通じた社会貢献活動プログラム[こどもたちのUD移動ミュージアム]にデザインで参加、同プロジェクトはグッドデザイン賞、キッズデザイン賞を受賞した。2012年、福岡市西区に「生の松原子どもスコール」をオープン。

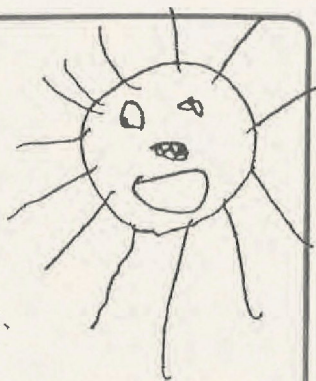
#### 編集後記

夏が来ると気温もどんどん上がり、最高気温が35℃になったり、36℃になったり。子どもたちを園庭で遊ばせるのも躊躇するほどです。そのような中福島では原発事故の後規制されていた外遊びがやっと規制なくできるようになったという記事が・・・人間の業というもののはどのくらい深いものなのでしょう?

4月には子ども・子育て支援新制度が始まり、国会では安保関連法案が迷走しています。未来の子どもたちのために私たちに何が出来るか責任は重大です。 広報部 日野

発行日 平成27年9月15日  
 発行者 万田 康  
 編集者 半田 義文  
 発行元 公益社団法人  
 福岡県保育協会  
 発行所 春日市原町  
 3丁目1-7  
 TEL 092-582-7955  
 FAX 092-582-7956

# 園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。  
(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、  
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する  
各種保険を取り扱っております。

## ほいくのほけん (旧：全私保連保険制度)

「園賠償責任保険」  
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付常普通傷害保険)」  
「特別保育事業賠償責任保険」  
など、園経営におけるリスクに関する保険を  
ラインナップしています。また、それらを総合的に  
補償するセットプランもご用意しております。

## 園児総合保障 共済制度

園児を24時間補償する  
共済制度(こども総合保険)です。  
保育者にとっては一般契約に比べて  
団体契約による割引の適用で割安な掛金で  
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。  
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

## 有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

### (引受保険会社)

東京海上日動火災保険株式会社  
担当課：公務第二部 公務第一課  
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保  
険・学校契約団体傷害保険特約付常普通傷害保険・  
こども総合保険の概要についてご紹介したもので  
す。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧  
ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私  
立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、  
ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会  
社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっ  
ては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

